



SONGWON Industrial Group、2020 年第 3 四半期の決算を発表

- 第 3 四半期の総売上：1,952 億 3,700 万 KRW
- 純利益：87 億 4,600 万 KRW
- 売上総利益率：20.8%

ウルサン・韓国 - 2020 年 11 月 13 日 - SONGWON Industrial Group (www.songwon.com) は本日、2020 年第 3 四半期の決算を発表しました。当期、同グループの累計連結売上は 1,952 億 3,700 万 KRW と前年同期比 (2,083 億 8,800 万) 比で 6.3% 減となりました。当期、EBITDA は 7.3% 増の 243 億 4,900 万 KRW となり、純利益は前年同期比で 19.8% 増の 87 億 4,600 万 KRW となりました。2020 年 9 月時点での年度累計連結売上は、6,039 億 2,500 万 KRW となっています。

単位は百万 KRW	第 3 四半期			9 月までの累計		
	2020 年	2019	Δ%	2020 年	2019	Δ%
売上	195,237	208,388	-6.3%	603,925	617,272	-2.2%
売上総利益	40,622	41,000	-0.9%	123,932	132,573	-6.5%
売上総利益率	20.8%	19.7%		20.5%	21.5%	
営業利益	15,822	14,039	12.7%	50,055	51,075	-2.0%
EBITDA	24,349	22,694	7.3%	76,049	78,582	-3.2%
EBITDA (%)	12.5%	10.9%		12.6%	12.7%	
EBIT	15,796	13,532	16.7%	50,289	51,017	-1.4%
EBIT (%)	8.1%	6.5%		8.3%	8.3%	
当期純利益	8,746	7,302	19.8%	25,350	28,905	-12.3%

当期も前期に引き続き、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い世界経済の不確実性が増し、結果的に多くの業界において、市場の混乱や、需要へのマイナス影響が見受けられました。しかしながら **SONGWON** のパフォーマンスケミカルズ部門は当期、このような情勢をものともせず、前年四半期比で **8.2%** 増という着実な業績を達成しました。同部門の事業改善がプラスに働いただけでなく、特に韓国において市場回復の兆しが見られたことが結果として需要の増加につながりました。特に東南アジアおよび南アジアでの **PVC** 添加剤の売上増加が顕著に見られました。また、工場の稼働率が上がったことが、スズ中間体/触媒の売上増加につながりました。

一方当期、**SONGWON** のインダストリアルケミカルズ部門は市場環境悪化の打撃を受け、苦戦を強いられ、結果的に前年同期比で **11.3%** の減収となりました。市場シェアがわずかに拡大し、為替の値動きが若干有利に働いたものの、市場の需要低下が主なマイナス要因となったポリマー添加剤の売上の落ち込みを補填することはできませんでした。加えて原料価格の低下によって値崩れが進んだことも当期の同部門の売上の下押し要因となりました。一方、予想に反しリードタイムの短い潤滑剤向けの添加剤の需要が増加したことが、当期の業績の上押し要因となりました。

当期、一部の例外はあったものの、自動車市場では持ち直しの兆しが認められました。これが業績に有利に働いたことを理解しつつも **SONGWON** は、新型コロナウイルス感染症拡大の第 2 波が再び需要の低下につながることを予測し、警戒を強めています。当期、**SONGWON** は新製品「**SONGFLAME® WB 201**」を発表し、サステナビリティを支援する継続的な取り組みを強化しました。この新製品は、コーティング、接着剤、シーラント、エラストマー（**CASE : Coatings, Adhesives, Sealants, Elastomers**）市場や、難燃性が求められる繊維製品用途での利用向けに開発された溶剤フリーの水性難燃助剤です。当期、**SONGWON** はグループの最適なコストポジションを維持するため、需要に見合った生産能力を設定し、自社の事業運営継続計画に関連する各種対策を実施しました。

見通し

新型コロナウイルス感染症の拡大が影響を及ぼす期間は依然として不透明であり、今後も厳しい市場環境が続くことが予測されるため、SONGWON は現時点で第 4 四半期の見通しを立てることは難しいと考えています。新型コロナウイルス感染症拡大の第 2 波による供給停止の可能性への懸念が高まっていることを考慮しつつ、SONGWON は当期パフォーマンスケミカルズ部門で認められた需要の増加が、第 4 四半期そして、2021 年へと続いていく可能性を慎重に見極めていきます。また第 4 四半期は例年通り、顧客の年末在庫調整によるマイナス影響は避けられないと予測しています。需要の予測が困難な現状を踏まえ、SONGWON は予期せぬ需要増加が生じた場合に、十分な供給量と安全在庫を確保しつつ、確実に対応できるよう工場の稼働率を上げ、生産を続けていく予定です。

新型コロナウイルス感染症によるすべての影響を把握することは困難であり、回復にかかる期間も不透明ではありますが、SONGWON は引き続き警戒を緩めることなく、世界の情勢と新型コロナウイルス感染症が業界やさまざまな市場に与える影響を常に注意深く見守って参ります。回復力のある事業モデルと継続的な最適化戦略を自負する SONGWON は、現在置かれている厳しい状況を乗り越えることができる立場を確立できていると確信しています。2020 年 第 3 四半期のレポートは、以下のリンクよりダウンロードいただけます。

www.songwon.com/investors/reports-publications

SONGWON Industrial社について

SONGWONは、スペシャルティケミカルズ製品の開発、生産、供給におけるリーディングカンパニーで、当社の製品は皆様の日常生活のいたるところで使われております。1965年の設立以来、カスタマイズしたソリューションの提供を通じてイノベーションを主導し、成長のための業務提携を進め、より持続可能な明日を目指して来しました。

韓国に本社を構えるSONGWONは、世界第二位のポリマー添加剤メーカーです。世界各国にグループ会社とワールドクラスの製造工場を展開し、60を超える国のお客様に向け、それぞれお客様のニーズを満たす高品質の製品と、最高水準のサービスを提供するよう取り組んでおります。

詳細はこちら。 www.songwon.com。

本プレスリリースは以下のサイトよりダウンロードできます

www.PressReleaseFinder.com。

お問い合わせ:

SONGWON Industrial Group
Christine Hug
Corporate Communications Manager
Walzmühlestrasse 48
CH-8500 Frauenfeld
Switzerland
電話: +41 52 635 0000
メール: marketing@songwon.com

メディア関係および掲載記事に関するお
問い合わせ:

Masayuki Fukushima | 福島昌之
PR Director | PR ディレクター
Tokyo PR Inc. | 株式会社 東京 PR
103-0022 東京都中央区日本橋室町 4-3-15
三溪洞ビル 5F
電話: +81-(0)3-3273-2731
メール: fukushima@tokyopr.co.jp
www.tokyopr.co.jp

[LinkedIn](#) をフォローしてください。

SWPR228JP1120
2020年11月13日

It's all about **the chemistry™**

